

山田勝先生退職記念論集の刊行に寄せて

経営学部教授 片桐 伸夫

山田勝教授は、2012年12月18日の御誕生日をもって満70歳に達せられ、今春3月に本学の定年制により退職されることとなりました。先生は、1972年駒澤大学大学院商学研究科商学専攻博士課程を満期退学の後、駒澤大学経営学部設置から5年後の1974年に、本学部の専任講師として着任されました。以来39年の長い歳月にわたって奉職され、商業史学の分野における研究・教育に多大な貢献をなされ、その成果をご著書『現代商業の歴史と展開』（創成社、284頁、2001.03）、『商業史概論』（創成社、300頁、2004.07）にまとめられました。

個人的な話を致しますと、私が山田先生に初めてお会いしたのは、32年前でした。いま私どもの第2研究館ができる以前の、第2研究館と同じ場所のプレハブ相部屋研究室で、アメリカ留学帰りのカウボーイハット？姿の装いに度肝を抜かれたものでした。外車通勤されていたときも、すごく格好良かった。私の結婚式にもご出席賜り、以後、何かにつけて兄事してご相談し、そのつど誠に当を得た数々のアドバイスをいただき、本当にありがとうございました。

山田先生は、学内行政面においても多大な貢献をなされました。1990年から学生部長（評議員）、'92年から教務部長（評議員）と全学的役職を歴任され、学部においては、'95年から経営学科主任を2年、また、'97年からは経営学部長（理事・評議員）を1期2年間務められました。重責を担いながら適切にご判断、それを実行する決断力、歯に衣着せぬ明確なご発言は、素晴らしい一言に尽きます。

「まだまだお若い」という社交辞令がありますが、先生は本当に気力、体力ともに若いのです。去年の教授会後のどしゃ降りの雨の中、傘がないのでダッシュして研究室へ。8歳若い私は先生について行くのがやっとでした。山田勝先生、私ども駒澤大学経営学部に対する数々のご指導を心より感謝致します。

どうぞ、今後とも宜しくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。